

全力前進

令和元年度
野間中学校2年生学年通信
最終号

～新しい自分と友情と感動に向かって～

みんなとの出逢いから、2年。中2病、また、中だるみの時期と呼ばれるこの2年生はどうでしたか。中学校1年生の4月号に、こう書きました。

『中学校生活は、自分の考え方と行動で本当に充実させることができるのです。分からないから、最初は失敗することがあるでしょう。でも、大丈夫。自分の「できる」を増やすために、様々な活動に挑戦していきましょう。決して、「失敗しないように」とは思わないでください。失敗しないように動くということは、「挑戦しない」になってしまいます。挑戦をやめなければ、今の自分には力がどんどんついてきます。色々注意されることもあるでしょう。でも、大丈夫。注意されたら、そこを全力で直せばいいのです。注意されるということは、自分を伸ばす近道を教えてくれているのです。つい、自分の弱い部分が出てしまうかもしれませんが、でも、大丈夫。その弱さに気づき、認めて、直すことが「自分の強さ」につながるのです。』

改めて読み返すとどうでしょう？中1よりも、そして、4月の自分より、成長した「今」の自分がいますか？今のクラス・学年の仲間との思い出はたくさんできましたか？授業・給食・掃除・部活動のある当たり前の毎日を大切に、行事では仲間と協力し、全力で行うみんなの姿を見て、いつも感動していました。いつもありがとう。さらなる成長を期待しています。

学年主任 酒井 美芽

1年間ありがとうございました。2年生 72名へのメッセージです



学年主任・A組担任 酒井 美芽先生

2年生が終わり、いよいよ最高学年3年生。社会情勢の関係で、学校が突然休校になりました。『今を大切に』『全力で』と、毎回話していた言葉をこれほどかみしめたことはありません。次に再会し、成長した皆さんと会うことが楽しみです。1年間、ありがとうございました。

B組担任 服部 篤史先生

ついに最高学年となりますね。中学に入学してからの2年間は、早く感じませんでしたか。振り返ると、郡上八幡研修や職場体験、野中祭、上級学校訪問とたくさんの行事がありました。どれも皆が楽しそうに取り組む姿が懐かしいです。3年生は中学校生活の中で1番の思い出が作れる年だと思います。最高学年になっても、皆で思い出を作っていける学年であってほしいです。

2年担当 竹田 八史先生

「教員になって、よかったな。」皆と1年を過ごした今、私が思うことです。教員1年生、愛知県民1年目の私を、皆は温かく迎え入れてくれましたね。4月、不安と希望でいっぱい1年生を、温かく迎え入れてあげられる…そんな3年生になった皆の姿を楽しみにしています。

2年担当 日比登史男先生

今日の続きの明日が必ずあるわけではありません。時として予定しない明日が来ることがあります。自分の教員生活の中でも、今回のように急に学校での生活がなくなったことはありません。しかし、この特別な状態を自分が成長する機会と捉え、有効な時間にしてください。